

令和4年2月10日発行

CONTENTS No.72

議会レポート(常任委員会).....	2-3P
一般質問	4-11P
議会をPick-Up! 12月定例会.....	12P
議案の審議結果	13P
新年度予算要望	14P

渓谷を照らす陽の光

(写真：十日町高校写真部)

議会レポート

常任委員会は、所管事項に関する調査を行い、議案等を審査するために設置されています。

十日町市議会には、3つの常任委員会があります。

今号では、管内視察について報告します。



総務文教常任委員会

【所管事項】

企画政策課、総務課、財政課、防災安全課、税務課、会計課、教育総務課、学校教育課、生涯学習課、文化財課、スポーツ振興課、文化観光推進室、議会事務局、選挙管理委員会及び監査委員所管に関する事項。その他、他の常任委員会の所管に属さない事項

産業建設常任委員会

【所管事項】

産業政策課、農林課、観光交流課、建設課、都市計画課、エネルギー政策課、環境衛生課、上下水道局及び農業委員会所管に関する事項

厚生常任委員会

【所管事項】

福祉課（福祉事務所）、市民生活課、子育て支援課、発達支援センター、健康づくり推進課、新型コロナウイルスワクチン接種対策室、地域ケア推進課



松代セミナーハウス



広大な敷地

●松代セミナーハウス（旧早稲田大学郊外施設）
旧松代町山平中学校の跡地に昭和61年に竣工し、早稲田大学の大学ゼミや体育事業など多くの学生から利用されてきました。今般大学側からの寄附の申し出があり、11月に施設の引き渡し式が行われました。蒲生の棚田に隣接する約7ヘクタールの広大な敷地に素晴らしい景観が広がっており、担当課からは、早稲田大学との交流についても、これまでと同様に継続していくとともに、新たな宿泊施設となる「松代棚田ハウス」との相乗効果でより一層の交流促進を図るとの説明がありました。

総務文教常任委員会



キョロコでの事業説明

●越後松之山「森の学校」キョロコ
「大地の芸術祭」松之山ステージの拠点施設として平成15年に開館しました。昨年度は緊急事態宣言等の影響により、入館者が減少したものの、今年度はコロナ禍における旅行等移動の近距離化の傾向により、修学旅行による来館者が増加しているとのことでありました。
また、当市は昨年度、国の認定を受け、文化観光推進事業に取り組んでおり、キョロコにおいては、キャッシュレス機器の導入、冬の美人林VR映像制作や、多言語化対応、オンラインミュージアム化など、時代に即した施策が展開されており、さらに魅力ある施設となったと感じました。

産業建設常任委員会

7月に市内のさまざまな市有施設を視察致しました。

改修が必要となる上下水道施設や松代海老で建設中の一般廃棄物最終処分場、松之山温泉を活用した地熱バイナリー発電所、使用済み紙おむつの燃料化実証施設、旧松代中学校寄宿舎を改修した棚田ハウスなどを実際に目にし、担当課からも現状を聞かせていただき、担当課から課題などを議場だけで討論するのではなく、現場を見て状況を実際に把握した上で考えることができるようになるため、非常に良い機会となりました。



地熱バイナリー発電所（松之山）



卸売市場（南部青果株式会社様）

11月には南部青果株式会社様に伺い、卸売市場視察と懇談を行ったほか、JAみなみ魚沼様とJA十日町様にも伺い、取り組み状況などをお聞かせいただき、意見交換などもさせていただきました。

当市の農業を支える市場とJAの実情と課題を学ぶとともに、農産物の生産販売において優れた成果を上げている南魚沼市の取り組みを肌で感じることで、今後の当市の農業を考える上で有意義な視察となりました。

視察で得たことを有効に活用し、当市の課題解決や、産業の発展に活かせるよう努力してまいります。

厚生常任委員会

8月5日に、多くの事業を受け持つ十日町市社会福祉協議会の皆さまと意見交換を行いました。

柳事務局長から現在携わっている社会福祉協議会の概要について説明があり、限られた職員の中で横の連携を取りながら多くの職務を続けていること、四つある支所のうち二つの支所では、職員を一人にしなければならないほど厳しい財政状況にあることなどを伺いました。



十日町市社会福祉協議会との意見交換

コロナ感染が沈静化したとしても、少子高齢化が続いている中で、社会福祉協議会が向かわなければならない取り組みは際限がありません。独居やご夫婦だけの高齢者、認知症を含めた本人と介護従事者への対応だけでなく、生活困窮者やひきこもりにも関わらなければなりません。

意見交換の場では、委員会から多くの質問をさせていただきましたが、要望だけでなく、市や社会福祉協議会と連携していくことが、市民のためになると確信した話し合いでした。



議員自身が
テーマを決め、
市に対して直接質問
をします!



ココが聞きたい! 一般質問

一般質問は、議員個人が問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めることができる唯一の機会です。今回は、15人が私たちの生活に関わることに
ついて質問をしました。

テーマは自由

質問する内容は、議案とは
関係なく議員が自由に決め、
「通告書」に書いて締切日
までに提出します。

制限時間は50分

一人当たりの制限時間
は、市からの答弁も含
めて50分です。



このような長い歴史を鑑みても、城之古青菜は、雪国十日町ならではのストーリー性があり、地域の食文化を支える貴重な食材だと認識しています。

また、給食を通じた食育として、子どもたちにこうした伝統野菜を教えることや城之古青菜を使った郷土料理をしつかりと後世につなぐことも大切です。そのためにもぜひ城之古青菜を残していただきたいと考えています。出

しかしながら、平成24年に15人おられた生産者も、令和元年には9人まで減り、組合としての活動は一旦休止されています。現在は城之古と川治の生産者7人が個人で市場やスーパーに出荷をしていると伺っています。

答弁 城之古青菜は、明治43年頃に城之古で生産が始まって以来、110年余りの歴史を誇る当市の伝統野菜です。冬に葉物野菜が希少であった時代に新鮮な野菜を地域住民に供給しつつ、農家の冬の収入拡大を目的に、豊富な地元の清らかな水を用いて青菜栽培が始まったと伺っています。



雪国十日町の伝統野菜
城之古青菜を守ろう!

星名大輔 議員



城之古青菜

荷量は減少傾向と伺っていますが、今でも4人の農家に後継者がおられると伺っており、引き続き担い手が青菜生産に励んでいただけるよう、必要な支援を行いたいと考えます。後継者がこれからも生産意欲を持って経営できますように、園芸振興に係る国、県の事業や市単事業などの活用を進めます。

また、城之古青菜の生産者は、城之古以外の農家にも栽培技術を積極的に伝授したいというお考えをお持ちであるというので、生産振興策について、関係機関と連携の上、しっかりと進める所存です。



学校部活動、 地域部活動について

中林 寛 議員



質問

①令和2年9月に、文部科学省では学校の働き方改革を踏まえた部活動改革の推進として、令和5年度より段階的な学校部活動から地域部活動への移行を進めていくと発表しました。当市における部活動改革の方針をお聞かせください。②部活動に関わる交通支援について、練習や大会で集団での行動を行う場合に対する支援などどのようなになるのか、お聞かせください。

答弁

①中学校の部活動の在り方検討委員会において主に次の点について議論が交わされてきています。地域移行を進めるための種目や競技の選定、仲間外れやいじめなど学校管理外の生徒指導上の課題への対応、中核となってコーディネートできる組織や指導者の在り方、施設利用の減免や送迎を含む保護者負担の考え方についての4点です。今後は部活動の地域移行に向け、社会体育や文化芸術関連の団体と連携する検討委員会を立ち上げ、新たな体制で課題解決に向けた協議を進める予定です。また、国が選定した先進のモデル自治体の取り組みを参考に、市としてのビジョンをしっかりと定めて、生徒や保護者、地域、関係団体のご理解とご協力の下で、よりよい方向性を

見出したいと考えています。②学校管理自動車と教員や保護者の私有車を使用しており、市では規則を制定し、ルールを定め、万が一事故等が発生した場合、法律上の賠償責任を最終的に市が負えるようにしています。また、運行に対する支援として、生徒の輸送に係る費用は市の教育振興会を通して各学校に補助をしています。今年度は中学校1校当たり5万円を交付しています。まず子どもたちの活躍を第一に考え、保護者のご理解の下で、教員の働き方改革を踏まえたビジョンを描きながら、進めたいと考えています。



災害時の避難対策と教育環境の 整備、部活動の今後について

根津 年夫 議員



質問

①災害時の高齢者・障がい者の避難体制の整備②自主防災組織主体で実施している訓練の実施状況・内容と市民の参加状況、今後の課題③学校防災の強化と防災教育の推進について

答弁

①本人の同意を得たうえで、支援が必要な方の情報を共有し、避難所での生活が困難な方については、福祉避難所として指定する特別養護老人ホーム等へ誘導することとしています。②令和元年度は訓練104件、参加者数6578人、2年度は訓練76件、参加者数3042人、今年度は昨日現在で訓練13件、参加者数423人です。

リーダー研修、原子力防災訓練、水防訓練、冬季防災訓練等あらゆる事態を想定した訓練を実施したいと思っています。できればリーダーを5年ほど継続されると防災力は上がると考えており、今後の検討とします。平日昼間の対応とリーダー不在についてはボランティアという部分もあり、今後の検討とします。③自ら危険を察知し、率先して安全確保の行動ができる自助の心を持った児童生徒の育成に努め、集団や地域の安全、安心を進んで考え参画する共助の心の育成も目指しています。

答弁

①環境整備の核として全学校でコミュニティ・スクールを立ち上げ、地域とともにある学校づくりを進めています。②この5年間で10校中5校の6つの部活動が廃部または休部となり、今後廃部、休部を検討している中学校もあります。③受皿となり得る団体等と意見を交わし実情に見合う指導者の在り方や育成について検討を深めます。



実践的な防災訓練を

質問

①地域資源を活用した十日町ら



冬季の市民生活応援

滝沢 繁 議員



質問

① 灯油高騰で弱者世帯に対する早急な暖房用燃料費助成の実施が必要ではないか。② 融雪屋根は一冬平均17万9000円必要という数字もある。雪処理券は多雪地域4万の補助がある。頼める人がいないから融雪にしている実態があり、かさ上げ燃料支援が必要と考えるがいかがか。③ 冬期集落保安要員制度が集落単位で取り組めるようになる。進捗状況を伺う。④ 空き家対策で支援がないとそのまま空き家になる。先を見た対応が必要では。

答弁

① 市内に住所を有する市民税非課税世帯を対象に助成事業を実施予定ですが、② 灯油購入費等の助成と対象者の多くが重複しているため、融雪屋根のみの割増し支援は考えていませんが、今年度から多雪区域を設定し上限額を5千円引き上げました。③ 従前から設置している集落には、制度見直しについて了解を得ています。制度拡充で対象となる可能性のある集落には個別にお声掛けし、現在1集落から申請をいただいています。保安要員の高齢化や後継者不足が課題の集落にも新制度を活用した事業への移行を提案するなど、生活が安全に維持されるよう引き続き支援します。この事業の活用と既存の

制度を複合的に組み合わせれば、集落のニーズに合ったきめ細やかな雪処理支援が実現できる仕組みになると考えています。④ 適切に管理されない空き家を防ぐには、空き家となる前の段階から関係者で話し合うことが大切です。今後単身高齢者世帯をはじめとした、いわゆる空き家予備軍に対する啓発活動にも努めます。また、水沢地区で空き家に関する研修会を予定しており、空き家問題を個人だけでなく地域のことと捉え、防ぐにはどうしたらよいのかを考える契機とし、この動きを市内全域に広げるよう努める所存です。

〈十日町市冬期集落安全・安心確保対策事業の紹介〉

●対象集落（次の①～③をすべて満たす集落）

- ① 高齢化率50%以上の集落
 - ② 30世帯未満の集落
 - ③ 生活に必要な道路※のうち、除雪が必要な区間の合計が100メートル以上の集落
- ※国県市道を除く道路であって、受益者が自力で除雪困難な高齢者等であり、住居が1戸のみの生活道路

●活動主体

- ① 冬期集落保安要員
- ② 克雪コミュニティ（集落又は、除排雪活動を目的とした住民等の相互扶助組織）
- ③ 除雪ボランティア受け入れ集落又は団体

●委託期間 12/1～3/31

●委託料 実績払いで最大50万円

滝沢繁議員作成



新型コロナウイルス感染症対策の課題、未満児の保育料について

山口康司 議員



質問

コロナ禍の終わりが見えない今、数多くの事業者支援等を行っていたいただき感謝しています。その中で①支援策の実績、成果等をどう評価しているのか②第6波が来るとも言われているが、どう対応していくのか伺います。

答弁

① 事業者向け経済対策で約3億7600万円の補助金等を交付し、対象事業の総事業費は約19億円です。

この結果、今のところ感染症が原因となった倒産はありません。自動車部品等の製造業は全体では回復に向かっており、織物業では市場が動き出し販売額も上向きと聞いています。宿泊業では緊急事態宣言の解除や県民割により、週末の予約が取れない宿も現れてきました。一方、飲食業とタクシー業では、コロナ前ほどの人出がなく、再度タクシー券を配布し年末年始に向けて需要喚起を図ります。② 当市のワクチン接種率は県内でも高く、県の認証制度の取得率も県内トップレベルです。こうした優位性を活かす必要な対策を講じます。地方創生臨時交付金の追加も見込まれ、第6波到来の有無にかかわらず、ポストコロナ社会への取り組みや事業所の成長につながる取り組みへの支援を実施します。

質問

コロナ禍で非正規雇用者等の収入が減り、高い未満児保育料が家計の負担になっています。保育料軽減、無料化に向け対策をとっていただきたい。

答弁

今年度から第3子以降の保育料無償化を開始し、当市の国基準に対する軽減率は5割近くになり、県内トップクラスです。保育料の区分は国基準の10区分に比べ、さらに細かく20区分を設定し、所得状況に応じたものとなるよう調整も図っています。ほかにも、医療費助成の拡大や施設整備も積極的に進めてきました。子育て世帯支援は今後もしっかりとっていく考えです。





十日町市の食育のすばらしさを県外で頑張る若者に伝えて

水落 静子 議員



質問 コロナ禍での市民の健康の傾向、食生活改善推進員の取り組みは。

答弁 当市は脳血管疾患で亡くなる方の割合が高い傾向にあることから、糖尿病や高血圧予防に取り組むことが重要と考えています。十日町市食生活改善推進委員協議会の会員、12地区85人が、それぞれの地区で調理実習、減塩対策、健康づくりの普及を担っていただいています。昨年度は、会員の皆さんが考案した減塩レシピ集のホームページでの公開、公民館や情報館への冊子の設置、検診会場でリーフレットの配布をしています。今年度は健康講習会やがん検診での啓発活動を行い、減塩対策では食育活動において、保育園での教室、高校生への調理実習など若い世代への働き掛けも行っています。

質問 児童生徒の郷土食での食育、地産地消、地元産米使用の取り組みは。

答弁 当市の学校給食での米を除く昨年度の地産地消割合は、カボチャや白菜、里芋を中心に33・3%となっており、季節に応じた郷土食や十日町市の特産品を使用した特色ある料理を取

り入れています。ふるさとに誇りを持つてほしいという思いから、地元産コシヒカリを月2回提供しており、昨年11月分からは生産者、農協、そして市が連携、協力して月4回に増やし、コシヒカリ以外も100%地元産の米飯給食となっています。

質問 当市の給食の豊かさや郷土食を県外で頑張る若者に伝える取り組みは。

答弁 一回一回の給食を意味あるものにする事で記憶に残り、郷土食が伝承できると思います。ふるさととつながっているという気持ち、帰りたい、応援したいという気持ちを持つていただくためにも、食べ物是非常に効果的ですので、これまで以上にしっかり進めたいと思います。



十日町中学校ホームページから

質問 現在の公共交通機関の利用状況の現状と課題

答弁 民間交通事業者が運行する路線バスについては、年々減少傾向となっており、昨年度は新型コロナウイルスの影響を大きく受け、令和元年度と比べ約2割、ほくほく線では約4割減少しています。一方、市が運行する市営バスでは、六箇線や仙田線の運行開始、また、予約型乗合タクシーでは運行区域拡大で利用状況は増加傾向にあります。今後も利用者の減少が予想されることから、効率的で効果的な公共交通のネットワークを構築する必要があると考えます。

質問 市役所で行われているノーカーデーの具体的な取り組みと実績

答弁 職員等を対象に4月から11月の間、月1回徒歩や自転車、公共交通機関を利用する取り組みで、約2割が実践し、8割は代替の交通手段がない等の事情で取り組めていない状況です。

質問 公共交通機関を実際に利用して検証するチームをつくれな

答弁 今後関係機関や地域から参画いただく協議会を立ち上げ、令和4年度から2年間かけて地域公共交通計画を新たに策定したいと考えています。公



公共交通機関の利活用で挑むゼロカーボンシティ

嶋村 真友子 議員



公共交通の検証について、協議会の中で話し合っており、方向性を定めていきたいと思っています。

質問 松之山のキヨロ口や松之山温泉スキー場までのバスの運行を検討しては

答弁 乗り継ぎが必要ですが、現在交通手段は確保されている状況です。現在のルートを変えることについては、利用者ニーズの把握や観光、関係部局との調整、また地域の皆さんとの調整をさせていただいてから検討することになります。

わたしたちができることは

1. できるだけ車の使用を避ける。地球に最も優しい方法は、歩いて移動し、公共交通をつかうこと
2. もし車を使う場合は、1台の車に複数人が乗るようにする。同じ方向に行く友人がいるならもちろん同乗させる

グレタのねがい 西村書店 より引用



イラスト：嶋村真友子議員



当市の婚活と結婚後の支援について

山家 悠平 議員



質問 ① ハビ婚活サービスを中心とした

これまでの婚活支援の状況について② コロナも落ち着いてきたので、飲食店支援もかねて少し大規模な婚活イベントを開くことはできないか。③ ハビ婚活サービスの宣伝周知の方法について

答弁 ① 平成27年度にハビ婚活サポートセンターをクロスステーションに設置し、相談やマッチング支援、また年間を通して婚活イベントを開催し、カップルの誕生を後押ししています。今年の11月末までに登録のあった会員総数は350人で、現在は男性60人、女性27人、合計87人です。11月末時点で460件のマッチングを行い、成婚数は会員同士で18組、どちらかが会員の成婚者は40人おられます。このほか市が委嘱する5人のハビ婚活サポーターが本センターと連携し、結婚に関する相談やサポートなどを行っています。

さらに平成29年度から、国の制度を活用して市内で結婚される男女に最大30万円を補助する結婚新生活支援事業に取り組み、31組のカップルを支援しました。支援内容は、一定の条件を満たした新婚世帯を対象に、住宅購入費、賃貸借費用などに対し最大30万円を補助するものです。② まだ新型コロナウイルス

イルスの影響があり、いきなり大規模で開催するのは判断が難しいところで

す。小規模だとコミュニケーションが取りやすいというメリットもありますので、イベントの内容によって開催規模を検討してまいります。③ 市報やホームページで周知していますが、最近市でもツイッターを始めましたので、例えばハビ婚活サポートセンターがフェイスブックやインスタグラムで発信している情報を、ツイッターにも掲載し、広く周知してまいります。



「ハビ婚」で検索!



妻有地域の医療充実と魚沼基幹病院への交通手段について

富井 春美 議員



質問 十日町市は8月に3月を上回る

感染拡大が起こった。入院先が見えない市民の不安感払拭には、感染症対応の医療体制の提示が必要ではないか。

答弁 本県では、令和3年の夏の感染状況を踏まえ653床の入院病床数が確保されています。県の報道により、ピーク時に集中的に中等症者の受け入れをする県内の3病院のほか、中等症患者の受入れ医療機関として魚沼基幹病院や十日町病院をはじめ17の施設名も公表されています。

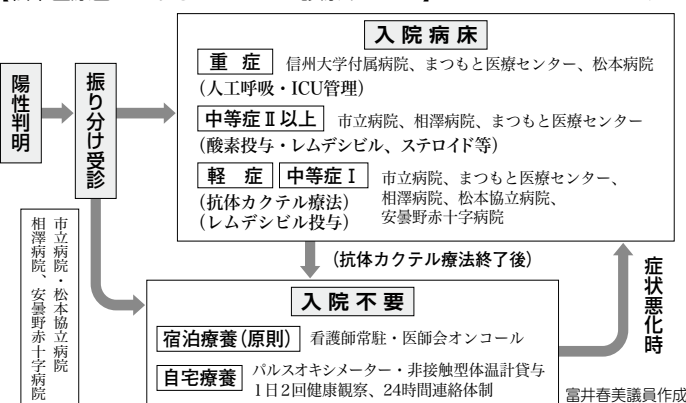
質問 ① 地域医療構想について、市長

は医療集約についてどのような考えか。② 調整会議に委ねるのではなく、信濃川筋の医療を議論する場が必要とする提起について市長の考えを伺う。

答弁 ① 県立松代病院のありよう、県の方針である医師の集約をどのような知恵を出してあるべき姿に持っていくか、引き続き県の動向を注視しながら、地域の実情や課題を含め、この地域にとってふさわしい病院群の在り方などを根気強く丁寧に新潟県に伝えていきたいと考えています。② 物事を達成していくときにはいろんな局面があり、必要な時に必要な体制をつくり、公のところで議論し、またいろんな部局で

【松本医療圏における Covid-19 診療イメージ】 (抜粋)

令和3年12月作成



調整して意見を出し、継続的に検討してまいります。

質問 魚沼基幹病院へ直通で行ける交通手段の検討は行われているか。

答弁 市民からの要望もあり、以前から検討を進めています。現在、直行便の運行に向けて、路線バス後山線の運行経路を延伸して魚沼基幹病院まで行けるように運転時間や便数などについて、南魚沼市やバス事業者などと調整を進めているところです。



基幹産業が見えない我が十日 町市は本当にこれでいいのか

小嶋 武夫 議員



質問 ①今年度1億円産地化に向けて取り組んだ結果、課題や問題点について伺う。②需要と供給のバランス、ブランド化をどう図ったのか。③販路まで整備しなければ市場価格の暴落を招くだけになる。値崩れを起こさないような体制の整備が必要では。④織物業に続く基幹産業が育たないことに市民は不安を感じている。合併を果たした今、農業を基幹産業として育てるべきと思うが市長の考えを伺う。

答弁 ①カボチャの販売額は約2500万円でした。主要産地の出荷量が豊富だったため市場価格が下がり、小玉のカボチャが多かったため販売単価も下がっています。主な課題は、大きなカボチャを作るための栽培技術の向上や他産地と競合せず高値販売を行うための栽培・出荷時期の調整です。ネギは販売額、生産者ともに順調に推移しており、販売見込み額は4500万円です。主な課題は、品質の均一化と今後の生産拡大に併せた共選場の整備です。②カボチャは値決めによる契約栽培にも取り組み、ネギは市場価格の高い早出しネギの生産に取り組みました。ブランド化については、両品目ともJA十日町が品質の規格を定め、栽培指



導や市場への売り込みを進めています。

③価格を安定的に維持するため、高値時期の出荷、契約出荷割合の引き上げ、新たな需要の掘り起こし、価格が暴落した場合の国のセーフティーネットの活用、これら四つの取り組みを進め、1億円産地化の着実な推進を図っていきたくと考えています。④農業は市の重要な産業の一つとして位置づけています。需要の変化に果敢にチャレンジする生産者を後押ししたいと考えており、成功するための枠組みをつくり、挑戦する生産者をこれからも応援する所存です。



公園及び遊園地設置遊具の管理(修繕・更新)について、市職員の労働実態について

滝沢 貞親 議員



質問 市内各地の公園及び遊園地に設置の遊具に関し、その老朽化や過度の使用による耐久性低下、故障など、危険性が認められる遊具について、その対処及び基準を示していただきたい。

答弁 市内公園及び遊園地の遊具は、国土交通省から示されている指針に基づき管理をしており、利用者の安全を確保するため、専門業者による年1回の点検を実施しています。危険が予測される遊具は、点検結果や専門技術者の意見を踏まえ、改善、使用中止措置を講じ、利用者の安全確保に努めています。さらに、危険性の程度に応じて応急措置、撤去、更新などの本格的な措置を指針に基づき行っています。

質問 6月議会にて職員の過重勤務について質問し、勤務実態改善のため、労使双方が協力し取り組むことをお願いした。現在の労働実態(超勤・過重労働、ハラスメント等)について伺う。

答弁 今年度上半期において、過重労働と言われる月80時間を超える時間外勤務を行った職員は6人です。休職者の状況については、人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき、毎年市報11月10日号でお知らせをしており、昨年度の休職者は6人、うち5

人は復職しています。今年度の休職者は11月末現在で4人、うち1人は復職しています。また、昨年度の自己都合退職者は5人、うち1人が休職者でした。今年度の自己都合退職者は11月末現在で1人です。職員が心身ともに体調を崩さないよう、所属長を中心として業務の平準化を行い、相談しやすい職場環境づくりを進めます。ハラスメントについては、今年度1件の相談がありました。管理職員を対象とした研修、相談しやすい体制づくり、職員にハラスメントに当たる行為を周知すること、発生防止に努めます。





移住相談への対応について

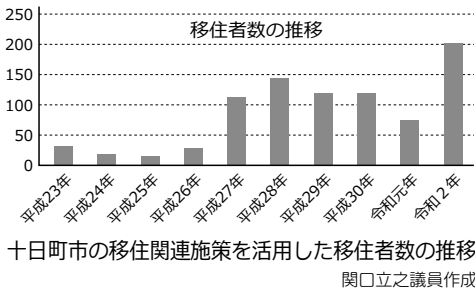
関口立之 議員



質問 コロナ禍にある東京圏の人々が地方移住へと関心を寄せている現在、十日町市の移住相談への対応について伺う。①移住支援員を設置した意図、経緯は。②「雪国独特の暮らし」についてどのように情報を発信しているか。③より多くの移住者を迎えるための取り組みについて市長のお考えは。

答弁 ①移住相談数や移住者数が増えており、さらなる増加を図るため、子育て、住まい、仕事など一体的に案内する相談窓口を開設しました。設置後、1カ月当たりの相談件数は約2倍に増えています。コロナ禍によりテレワークに関する移住相談が増え、実際に支援事業を活用した移住も増加しています。②現在、市のホームページやUターンガイドブックなどで、雪対策や雪国の暮らしを紹介しています。また、日本遺産に認定された雪国特有の恵みを生かし、住み継がれてきた当市の究極の雪国ものがたりを市ホームページ等で紹介し、雪国の魅力を発信しています。加えて、今年度から雪国居住空間コンテストを開

催し、雪国の暮らしを楽しむことができる居住空間の提案を募集し事業化に向けた支援を行います。③一つは、より自由に営業活動などができるよう移住相談機能を外部に委託し、委託先と市でキャッチボールができるようになるという思いがあります。もう一つは、空き家があつて、その空き家にも人が来てくれたら、その家族が来てくれたらどうなるかということを集落の皆さんから考えていただく、そういう気持ちになるようにお話ししていくのが我々の仕事だと思っています。20年前と比べて良くなった雪対策や公共交通機関、こういったことをもう一遍アピールする必要があるのではないかと思います。



ギガスクール構想の現状とスキー授業、今後のコロナ対応

鈴木祐一 議員



質問 ギガスクール構想にて他の自治体で誹謗中傷等のトラブルもあるようですが、当市の現状を教えてください。

答弁 各学校では6月からタブレット端末を使った授業が本格的に始まりました。これと並行し、教員に対しICT支援員による研修会を実施するとともに、子どもたちへの情報モラル指導や、端末の機能制限により安全、安心な運用に結びつけたいと考えています。

質問 究極の雪国とおかまちとしてスキー授業の継続は重要と思います。授業に使用する用具について保護者負担の軽減等どうお考えでしょうか。

答弁 お古を安く販売するPTAのバザーなど、なるべく保護者負担がかからないような対応を学校に指導してきたいと考えています。

質問 ①コロナ禍の誹謗中傷対応はどうなっていますか②コロナ禍の市長発言について現在の状態でしたら消費促進の呼びかけをもう少しやってもらいたいのですがどうお考えでしょうか。

答弁 ①防災行政無線やあんしんメールで根拠のない情報に惑わされることなく、冷静な行動をとるように強い注意を呼び掛けてきました。今後もプライバシーを明らかにする行為、ご家族



スキー授業

や医療福祉関係者、飲食店関係者などへの誹謗中傷は厳に慎んでいただきますよう、市民の皆さまに改めて強くお願いいたします。②私も記者会見におきまして11月の1日から市の職員に対していろんな外食等の自粛を解除したことを広くお話させていただきました。市民の皆さまには、感染状況等も加味した中で、プレミアム商品券などを活用し、市内飲食店での消費にお役立ていただきたいとお伝えしています。感染対策がしっかりとできているお店を選んでいただけで、大いにまちに出ていただければと思う次第です。



魅力的な子育て支援で学校と地域を守る、福祉水道どう守る

鈴木和雄 議員



質問 ①人口減少対策は最大の課題。

大地の芸術祭や地域おこし協力隊制度等で中山間地の暮らしを守るのか。

②子育てに特化した支援策。給食費や保育料の無料化、子どもの国保税均等割減免で若い人に喜ばれるまちづくりの考えは。

③学校統合の保護者アンケートに依って学校をどう守っていくのか。

答弁 ①交流促進や移住定住支援により、人々がこの地域に移り住み、高齢化集落の機能維持や、地域資源を生かした起業を行う若者が増え、地域力の向上につながっていると感じています。

また、人口減少が続く危機感を各地域の皆さんと共有するため、昨年度末に集落ごとの将来推計人口資料を作成し、市と地域が一体となった取り組みを進めます。併せて、高齢化集落等対策基金を創設して公助の支援を行います。学校が閉校した地域でも芸術祭の作品として再生され、地域ににぎわいが生まれており、今後も若い方々の移住定住につながっていくと考えます。

②ことも医療費の無料化について、市長選の選挙のときにも訴えさせていたが、実際に市長就任後すぐに着手しました。一気にはできないですがずっとやっています。③地域の皆

さんのお気持ちと、学ぶ子どもたちのことを両方考え、保護者、お子さん、地域の皆さんの卒業生を含めたご意向をしつかり見極めて、大きな決断をしていく必要があると思っています。

質問 簡易水道は福祉水道とも呼ばれています。給水人口が減少する中で運営をどう進めて行くのか。

答弁 簡易水道は、人口密度が低い地域をカバーする収益性の低い事業であり、独立採算が困難なため、国庫補助を受け経営しています。そこに住む方々の安定した生活のため福祉の水道という精神で運営しています。

●十日町市人口動態

出典：新潟県の人口移動第3表「市町村別人口動態」から抜粋

性別	R元.10.1	自然動態			社会動態							年間 増減
		出生	死亡	差引	転入			転出			差引	
					県内	県外	その他 ※1	県内	県外	その他 ※1		
男	24,699	120	378	△ 258	217	175	6	306	285	2	△ 195	△ 453
女	26,055	132	426	△ 294	189	196	6	295	307	5	△ 216	△ 510
計	50,754	252	804	△ 552	406	371	12	601	592	7	△ 411	△ 963

※1) 転入の「その他」とは「従前の住所地が不明の者」、「職権記載による者」及び「帰化による者」をいい、転出の「その他」とは「職権削除による者」及び「国籍離脱の者」をいいます。



地元中学校では大井田氏一族の活躍と誇りを学べるか

吉村重敏 議員



質問 ①岩田は新田という言い伝えがある。新田義貞の次男義興は新田神社の祭神となり、その子義胤が岩田平左衛門と改姓し大井田に住んだという。

②太平記には大井田氏一族が頻繁に登場し十日町市や大井田地区の誇りだ。東小学校の生徒は、ご先祖大井田氏一族の栄光と没落の歴史を学校で学んでいるか。

③学校教師に地域の歴史文化を講習しているか。

④郷土愛教育は教育委員会が主導したらどうか。

答弁 ①地域伝承などについては、基本構想よりも具体的な取り組みを盛り込む文化財保存活用地域計画策定の中で継続的な調査、研究の成果を結びつけていくことが適当ではないかと考えています。

②大井田氏の活躍等を学習する機会はないかなというところです。地域の専門家や見識の深い方をお招きする機会が必要となりますので、コミュニケーション・スクールの取り組みの中でご検討いただきたいと思います。地域の皆さまから、こんなすばらしいところがあると、子どもたちにぜひ知ってもらいたいという熱い思いを伝えていただき、カリキュラムを学校とつづけていただければと思います。

③新任



大井田賞授賞式 (令和2年2月14日)

転入教職員には、ふるさと教材を活用した当市の特色に関する研修を教育委員会主催で行っています。また、各学校では講習を行うなど、地域の自然や文化等、特色について伝達しています。④教育委員会として、これまでもしっかりと取り組んできましたし、さらに内容を充実させていきたいと思っています。各学校に歴史、ストーリーがしっかりとあり、非常に大事な要素だと思いますので、そういったことをお伝えする機会も必要だと思っています。日本遺産の認定を受けた内容についてもしっかりと伝えたいと思います。

12月定例会

● 議会をPick-Up!

令和3年第4回定例会
会期 12月3日～13日（11日間）
審議の結果は、13ページに掲載

12月の定例会は、市長提出議案23件、議会提出議案1件を審議しました。

Pick-Up
01

一般会計補正予算〔第9・10号〕

（主な事業および内容）

● ほぼほぼ線運行継続支援事業
コロナ禍においても、安全安心な運行を継続するため、出資割合に応じて北越急行株式会社へ鉄道施設整備に係る経費を補助します。

● とおかまち応援寄附金募集経費
寄附金の増額を見込み、返礼品の購入や発送管理等、ふるさと納税ポータルサイトの利用料など募集経費を増額します。



とおかまち応援寄附金



検索

● 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業
3回目のワクチン接種の安全かつ円滑な体制確保や2回目未接種者を対象とした集団接種の実施に向けて、必要な費用を増額します。



● 修学旅行キャンセル料等補助事業
県の特別警報などに伴い、修学旅行延期等により生じたキャンセル料を補助し、保護者の負担軽減を図ります。

● 修学旅行キャンセル料等補助事業
県の特別警報などに伴い、修学旅行延期等により生じたキャンセル料を補助し、保護者の負担軽減を図ります。

● 大地の芸術祭DX事業

令和3年に完成した大地の芸術祭公式アプリ「大地の芸術祭 電子パスポート&ガイド」の機能改善を行い、利用者の利便性を図ります。このアプリは、接触感染リスクの軽減や緊急時のプッシュ通知機能など、新型コロナウイルス感染拡大予防対策の補助的役割も担います。



公式アプリ「大地の芸術祭 電子パスポート&ガイド」

Pick-Up
02

人事議案

任期満了に伴う人事議案が提出され、同意しました。

● 市道除排雪経費

今冬の除排雪に向け、除排雪機械の修繕や路面凍結材等の確保、除雪体制を整えるため、必要な経費を増額します。



● 小学校施設整備事業

国の交付金事業の前倒し交付決定に伴い、中条、東、川治、水沢、千手、上野の六つの小学校の特別教室「音楽室・理科室」に空調（冷房）設備を整備し、夏季の熱中症予防と教育環境の快適性を高めます。

【人権擁護委員】

高波 悟氏

Pick-Up
03

条例の見直し

（主な内容）

● 十日町市デイサービスセンター条例の廃止
松代地区にあるデイサービスセンター「ほのぼの園」と「つるかめ園」を、現在指定管理者制度により運営管理を行っている社会福祉法人松代福祉会

へ無償譲渡するため、条例を廃止します。
譲渡後は、民間の創意工夫に基づいた施設運営が可能となり、利用者へのさらなるサービス向上が期待されます。

Pick-Up
04

計画の策定

● 十日町市過疎地域持続的発展計画
これまでの過疎法が令和3年3月末で失効し、令和3年4月から新たに過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が施行されました。今後

も引き続き過疎対策を進めていくため、当市の計画を策定しました。
計画には、高齢化集落等の継続的支援を目的とした基金の設置や、雇用の増加を伴う設備投資を行った市内企業への固定資産税の減免支援などの産業促進事項を新たに掲載し、地域の持続的発展を目指します。

防災情報システムを見学しました



デジタル同報系防災行政無線が、令和3年10月1日から正式に運用を開始しました。担当課からシステムの説明を受けるとともに、実際の運用状況を見学しました。

議案の審議結果



11月臨時会 議決結果

議案番号等	件名	付託委員会	採決状況	議決結果
市長提出議案	115 十日町市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定	—	全員賛成	原案可決
	116 十日町市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定	—	全員賛成	原案可決
	117 十日町市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定	—	賛成多数	原案可決
	118 十日町市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定	—	賛成多数	原案可決

12月定例会 議決結果

議案番号等	件名	付託委員会	採決状況	議決結果
市長提出議案	119 人権擁護委員候補者の推薦（高波 悟 氏）	—	全員賛成	同意
	120 字の変更について（六箇地区ほ場整備事業による田麦（中条津）換地区）	—	全員賛成	原案可決
	121 新潟県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び新潟県市町村総合事務組合理約の変更	—	全員賛成	原案可決
	122 十日町市過疎地域持続的発展計画の策定	総務文教	全員賛成	原案可決
	123 十日町市企業設置奨励条例の一部を改正する条例制定	産業建設	全員賛成	原案可決
	124 十日町市企業投資促進条例の一部を改正する条例制定	産業建設	全員賛成	原案可決
	125 地籍調査事業による住所表示の変更に伴う関係条例の整理に関する条例制定	—	全員賛成	原案可決
	126 指定管理者の指定（十日町市利雪親雪総合センター）	産業建設	全員賛成	原案可決
	127 津南地域衛生施設組合理約の変更	産業建設	全員賛成	原案可決
	128 十日町市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定	厚生	全員賛成	原案可決
	129 十日町市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定	厚生	全員賛成	原案可決
	130 十日町市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定	厚生	全員賛成	原案可決
	131 十日町市デイサービスセンター条例を廃止する条例制定	厚生	全員賛成	原案可決
	132 令和3年度十日町市一般会計補正予算（第9号）	—	全員賛成	原案可決
	133 令和3年度十日町市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	—	全員賛成	原案可決
	134 令和3年度十日町市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第2号）	—	全員賛成	原案可決
	135 令和3年度十日町市訪問看護事業特別会計補正予算（第2号）	—	全員賛成	原案可決
	136 令和3年度十日町市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	—	全員賛成	原案可決
	137 令和3年度十日町市介護保険特別会計補正予算（第3号）	—	全員賛成	原案可決
	138 令和3年度十日町市水道事業会計補正予算（第3号）	—	全員賛成	原案可決
	139 令和3年度十日町市簡易水道事業会計補正予算（第3号）	—	全員賛成	原案可決
	140 令和3年度十日町市下水道事業会計補正予算（第2号）	—	全員賛成	原案可決
	141 令和3年度十日町市一般会計補正予算（第10号）	—	全員賛成	原案可決
議会提出議案	23 議員派遣	—	全員賛成	原案可決

賛否等の状況

賛否が分かれた議案のうち、起立採決等により個々の賛否が明らかな議案について掲載。（○：賛成、×：反対、－：欠席）
※鈴木一郎議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については表決（賛成・反対の意思表示）権はありません。

議案番号等	議決結果	賛成	反対	かがやき						伸 しん 暢 ちやう				令和の風			日本共産党 十日町市議団			新 しん 成 せい 会			無 会 派				議長
				村山達也	富井高志	水落静子	中林寛暁	山家悠平	遠田延雄	高橋俊一	鈴木祐一	関口立之	吉村重敏	根津年夫	山口康司	星名大輔	鈴木和雄	滝沢繁	富井春美	福崎哲也	宮沢幸子	小嶋武夫	小林正夫	大嶋由紀子	滝沢貞親	嶋村真友子	
117	原案可決	19	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	※		
118	原案可決	18	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	※			

新年度予算の編成作業について

各常任委員会の意見・要望を提出

12月24日に行われた全員協議会において、常任委員会ごとに取りまとめた新年度予算編成に対する意見・要望を、各委員長が報告を行いました。

市長からは、第二次十日町総合計画後期基本計画を柱に、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の達成に向けて、切れ目のない子育て支援、移住定住の促進、

雇用の場の確保、出合いの場の創出など、令和4年度予算編成における方針等が示されたのち、各委員長からの意見・要望を踏まえてさらなるニーズに対応できるように、持続可能な財政運営を行いつつ、「選ばれて住み継がれるまちとおかまち」の実現に向けて予算編成を行うとの所信が表明されました。



厚生常任委員長
高橋 俊一 議員



産業建設常任委員長
村山 達也 議員



総務文教常任委員長
福崎 哲也 議員



12月24日全員協議会

ラジオ「FMとおかまち」(78.3MHz)で
一般質問を放送しています!

一般質問をした当日、夕方7時から放送
していますので、ぜひお聴きください。

インターネットで
本会議の様子を配信しています!



本会議の様を生中継・録画中継
しています。ホームページからアク
セスしてください。スマートフォン、
タブレットでも!



十日町市議会

検索

市議会の詳しい情報は、
十日町市議会のホームページを
ご覧ください



表紙写真について

今号の表紙は十日町高校写真部の作品です。

十日町高校写真部



現在10名で活動しています。お互いの写真を見せ合っ
たり、外に撮影に出かけたりしています。コロナ禍が終わ
ったら、遠くまで撮影に行きたいです。

あとがき

あけましておめでとうござい
ます。この号が読まれている頃
は、究極の雪国とおかまちらし
い雪景色になっていることと思
います。この雪と共存し、楽し
むことって大切ですね。久々
にスキー場に足を運んで見るの
も面白いと思います。新たな体
験があるかもですね。

新たな体験と言えば私事です
が、昨年は初体験が多い年でし
た。XCスキー、ゲートボール、
ボッチャなど貴重な初体験も多
い年でした。足を骨折した痛い
体験もありました。

編集委員会も新たな取り組み
を考え、もっと読んでもらえる
ように知恵を出し合い、議会だ
よりに取り組んでいきます。

(鈴木祐二)

【お問い合わせ】

十日町市議会事務局

〒948-8501

十日町市千歳町3丁目3番地
市役所本庁舎3階

電話 025-757-3119

FAX 025-757-5999